長崎県作業療法士会における MTDLP 研修修了状況

※長崎 20170517 名簿(協会より配信名簿)と長崎県士会 H29.1.15 名簿より

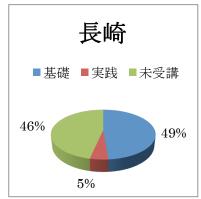
① 地区別履修状 ※自宅会員は除外しています。

会員数	464	179	160	95	28	926
	長崎	県北	県央	県南	離島	合計
基礎	226	93	62	42	10	433
実践	22	7	9	0	4	42
未受講	214	80	90	53	14	451
指導者	1	0	1	0	0	2
基礎	48.7%	52.0%	38.8%	44.2%	35.7%	46.8%
実践	4.7%	3.9%	5.6%	0.0%	14.3%	4.5%

※各地区別に MTDLP の履修状況の割合を出した結果、

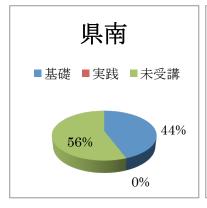
- 長崎地区は、約半数が基礎研を終えている。会員数が多い為か実践修了者も 22 人と多いが、 割合的には約 5%にとどまっている。
- 県北地区は、基礎研修了者が半数を超えているが、実践研修修了者の割合が 3.9%に留まっている。
- 県央地区は、実践研修修了者割合が5.6%と最も高いが、基礎研修了者割合が39.4%と低い。
- 県南地区は、実践研修修了者 0 人であった。基礎研修修了者割合も 44.2%と低めである。
- 離島地区は母数が少ない事もあるが、基礎研・実践修了者が合わせて半数おり、実践も 4 人 出している。
- 以下に各地区での受講割合を円グラフで示す

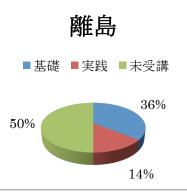
◎地区別受講割合円グラフ

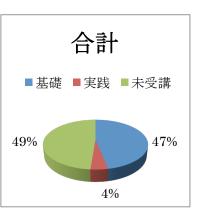












② 領域別履修状況

基礎研修修了割合

_		長崎	県北	県央	県南	離島	士会	%
基礎	身障	177	79	33	37	7	333	70.0%
	精神	42	10	14	2	0	69	14.5%
	老年期	19	10	13	2	7	51	10.7%
	発達	0	0	4	0	0	5	1.1%
	その他	10	1	6	1	0	18	3.8%
						476		

※各地区で領域別に基礎研修履修状況を出した。「その他」は学校と行政とした。

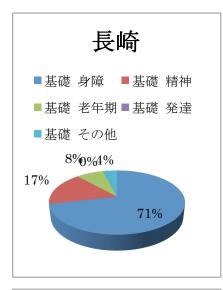
- 身障領域が最も多い。維持期や回復期を中心に受講者が多かったのではないか。
- 老年期領域が10%程度に留まっており、意外に受講者割合が少なかった。
- 精神科領域が老年期領域を上回っているが、OT 数全体に占める割合が多いので必然なのか。
- ◆ やはり発達領域の受講割合が最も低く、関心の低さが伺える。
- 発達の施設が県央地区に集中している為、発達領域受講者は県央地区のみになっている。
- 各領域の OT 数に対して、どの程度受講しているかの割合は出していない。
- 老年期や精神領域従事者 OT の受講を促していく必要がある。

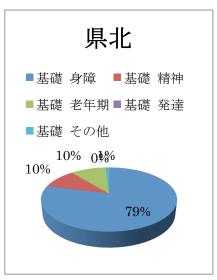
実践研修修了割合

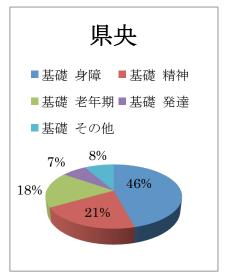
		長崎	県北	県南	県央	離島	士会	%
実践	身障	17	6	0	5	1	29	69.0%
	精神	1	0	0	0	0	1	2.4%
	老年期	3	1	0	2	3	9	21.4%
	発達	0	0	0	2	0	2	4.8%
	その他	1	0	0	0	0	1	2.4%
						42		

- 身障領域は会員数が多い分、実践研修修了者割合も高い。
- 老年期領域は基礎研修の受講割合は低いが、MTDLPを最も活用し易い領域でもある為か、実践研修修了の割合が高い。
- 老年期や精神領域従事者 OT の実践(事例発表)を促していく必要がある。
- 以下に、基礎研修及び実践研修の円グラフを示す。

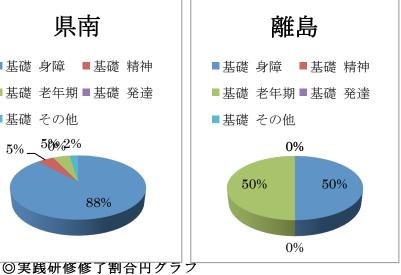
◎基礎研修修了割合円グラフ

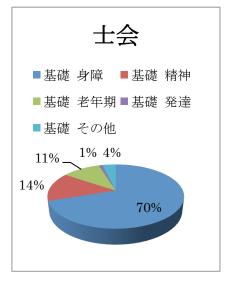






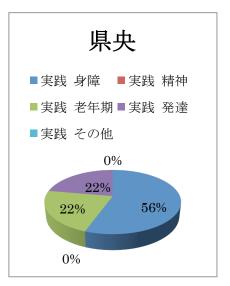








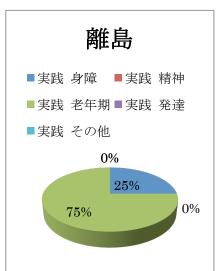


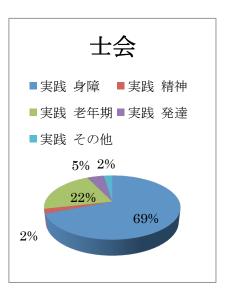


県南

- ■実践 身障 ■実践 精神
- ■実践 老年期 ■実践 発達
- ■実践 その他

0%





③ 臨床経験別状況

- ※ 会員番号の区切りと経験年数の区切りは、大凡の目安で分けた。
 - 基礎研修修了者は、臨床 10 年以下の若い会員が多く受講しており、約 70%になる。
 - 実践研修修了者においては、臨床15年以下で約80%になる。
 - 15年~25年の年代、中堅 OT や管理職的立場になる OT の受講数がやはり少なめか?
 - 毎年入会会員はもとより、上記年代の OT の受講を積極的に推進していく必要がある。

